

第2回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会総会（会議録）

会議の名称 第2回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会総会
開催日時 令和6年5月20日（月） 午後7時00分から
開催場所 岩村コミュニティセンター 大ホール
議題 ・承認事項
課題13 部活動に関すること
課題19 交流事業に関すること

公開非公開の別
出席者

公開
委員

額 佳	山田 英明	西尾 綾介	安藤 善和
渡会 由美	原田 英明	若森 慶隆	杉山 淳
平林 道博	安藤 常雄	小木曾 真由美	三宅 勝彦
夏目 裕行	後藤 加代子	市岡 信宏	岡庭 寿則
近藤 晃幹	後藤 純一	小木曾 美香	阿部 秀樹
藤田 みのり	中垣 野歩	鈴木 真弓	荻山 勝
川上 容子	小林 康予	片桐 宣伸	後藤 琢磨
中村 光代	深谷 友康	成瀬 久志	永田 満依子
各務 美穂	伊藤 朝実	長谷川 一行	加藤 淳
根崎 紀幸	園原 正明	近松 彩子	堀 雄二
安藤 真由美	片桐 慎一	小笹 寿里	松田 正
梶屋 明広	伊藤 桂子	松井 克仁	細江 幸次
長屋 真治	後藤 理恵	小栗 史也	三浦 祐揮
丸山 尚子	伊藤 亜弓	梅村 政則	藤田 航平
成瀬 宰	中田 憲	榎本 草平	塚田 茜
井出 百合	鈴木 直樹	大石 佐緒理	藤野 貴子
増田 尚子	伊藤 実千江	佐藤 美保	宮地 喜義

教育委員会

岡田 庄二	工藤 博也	鈴木 幸宣	丸山 頼彦
額 千尋	青木 茂	郷田 賢	西尾 功
各務 恵美	古川 暉久	市川 太一	志津 博光
小木曾 健太	小栗 研	岩島 慶尚	小島 光太郎
小野 千恵実	勝 有紀		

アドバイザー 福地 淳宏

会議の内容 会議録のとおり
傍聴者の数 6名

開 会 (午後7時00分)

事務局 皆様、こんばんは。本日は、お忙しい中、第2回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会総会にご参加頂き、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから開催いたします。

本日の総会につきましては、統合準備委員会設置要綱第6条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、成立していることを報告させていただきます。

申し遅れましたが、私は本日の司会に務めさせていただきます教育委員会学校統合準備室の瀧と申します。皆様に配付のレジュメに沿って進めていきますので、よろしくお願いをいたします。

なお、当準備委員会のアドバイザーであります岐阜聖徳学園教授の福地先生にも後ほどリモートでご参加のほうを頂きますので、よろしくお願いをいたします。

1 委員長・教育長挨拶

事務局 初めに、西尾委員長より開会に当たっての挨拶を頂くところでございますが、本日、西尾委員長は体調不良により欠席のため、杉山副委員長よりご挨拶申し上げます。よろしくお願いいたします。

副委員長 皆さん、改めまして、こんばんは。一日お疲れのところ、恵那南地区統合中学校準備委員会の総会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。昨年から引き続き役員を続けていただける方、そして、今年度になって新たに委員になられた皆さん、新しい学校をつくり、皆様方の英知を結集して、よりよい学校をつくっていきたいというふうに思っておりますので、どうかお力添えをよろしくお願いいたします。冒頭の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。

続きまして、岡田教育長よりご挨拶を申し上げます。

教育長 皆さん、こんばんは。先ほどもありましたけれども、本当に貴重な時間を頂きまして、今日の準備委員会にお集まりいただきまして本当にありがとうございます。先ほどの副委員長さんからもお話ありましたけれども、新しい中学校統合に向けて、皆様のお知恵をお借りしながら、よりよいものをつくっていき

いというふうに考えております。どうぞよろしく願いいたします。

2 委嘱

事務局 続きまして、次第2の委嘱ですが、今年度交代となった委員の皆様への委嘱でございます。この組織は、教育委員会から委嘱をすることになっています。お一人お一人委嘱をするのが本来ではございますが、時間の都合上、恐れ入りますが、机上での委嘱と代えさせていただきますので、どうかよろしく願いを申し上げます。

なお、新規委員の任期は、現任者の在任期間となっており、令和8年3月31日となっておりますので、併せてよろしく願いをいたします。

3 委員紹介

事務局 続きまして、次第3の委員紹介でございますが、委員名簿が皆様にお配りしております資料の1ページから2ページに記載してありますので、書面にて紹介に代えさせていただきます。

また、資料3ページには、本日の座席表も添付してありますので、併せてご確認をお願いいたします。

4 恵那南地区統合中学校準備委員会の組織について

事務局 続きまして、次第4の当準備委員会の組織について、事務局のほうから説明のほうをいたします。

事務局 教育委員会学校統合準備室の古川です。よろしく願いいたします。

まず、今年度の役員、委員さんの変更につきまして、小・中学校PTAさん、こども園保護者会の皆様に出選いただきました。選出につきましては、4月の中旬をお願いしたということで、非常に期間が短く、申し訳ございませんでした。来年度につきましては、3月中に依頼のほうをさせていただいて、時間のほうを取らせていただきたいと思います。また、新しい委員さんについて、口座登録の申請書を提出していただいたのですが、提出の理由など説明が不足しておりました。口座登録につきましては、委員さんへの交通費の振込みをさせていただくための登録になります。振込みにつきましては、1年分を年度末に取りまとめをしまして、お支払いをさせていただく予定です。いろいろ申し訳ありませんでした。よろしく願いいたします。

では、引き続きちょっと座って説明させていただきます。

今年度、年度が変わりまして、準備委員会の委員さんについても、40人近い委員さんが交代となって、新しい委員さんも多くなっております。この委員会の組織について簡単に説明させていただきたいと思います。

令和8年4月に恵那南地区の統合中学校を開校すべく、この委員会では、9ページにあります23の課題に取り組んでおります。課題が非常に多岐にわたります。8ページの下側にあるように、総務部会、環境整備・PTA・コミスク部会、教育活動・学校事務部会の3つの部会に分かれて検討を頂いております。それぞれの課題について各部会で案を作成し、幹事に提出されます。幹事会では出された提案を検討し、問題がなければ、承認して理事会に提出します。また、幹事会には、各部会の審議情報を共有し、所属する部会に情報を伝える役目もあります。理事会のほうは、幹事会で承認された提案について決定をする機関となります。理事会で決定された事項は、総会に諮られ、承認を受けた後に教育委員会に提言されると、そういう形になっております。

その前にあります設置要綱のほうになりますが、設置要綱第1条にありますように、準備委員会につきましては、統合について事務の円滑な推進を図るとともに、統合後の中学校における新しい学校づくりについて検討する委員会となります。なので、統合の是非や方法、時期を検討する場ではありませんので、ご承知おきいただきたいと思っております。

また、会議では、委員さんの貴重な時間を頂き検討をしておりますので、議題となっている事項についての発言を心がけていただくようお願いいたします。多くの方はそれぞれの組織から選出され、組織の代表の立場で出席していただいております。この委員会での情報については、それぞれの組織で共有いただきますようお願いいたします。

最後にお知らせとなりますが、小・中学校のPTA選出の理事さんですね、PTAの代表者さんにつきましては、後日、PTA会長様宛、理事の選出依頼を送付させていただきますので、ご承知おきのほどよろしくようお願いいたします。以上となります。

事務局 それでは、準備委員会の組織につきましてはですが、今、説明あったとおりでございますが、この件に関してご質問のある方は見えますでしょうか。

委員 議題に対しておかしいと思ったことは、おかしいって言うていいんですね。
事務局 議題に対してというと、例えば、本日の総議会のこの議題に対して、これはおかしいんじゃないかということがあればということであれば、この議題がおかしければ、それは言うていただいても結構です。
そのほかはよろしいでしょうか。よろしいですか。はい。

5 議事

- 承認事項 課題13 部活動に関すること
- 課題19 交流事業に関すること

事務局 続いて、次第5の議事に移ります。

統合中学校準備委員会設置要綱第6条第1項の規定によりまして、委員長が議事を務めるとなっておりますが、本日は委員長が不在でおられます。同要綱第5条第4項の規定により、副委員長に議長を行っていただきます。それでは、副委員長のほうで議事進行をお願いいたします。

副委員長 規定により議長を務めます杉山です。スムーズな議事運営に協力をお願いいたします。

それでは、次第5の議事に入ります。

承認事項にあります課題13、部活動に関すること、課題19、交流事業に関することについて、一括して事務局より説明をお願いいたします。

事務局 事務局の丸山頼彦と申します。よろしくをお願いいたします。着座にて説明させていただきます。

本日の資料の10ページ、課題13、部活動に関することについてになります。説明申し上げます。

まず、資料を基にご案内いたします。検討した経過でございます。

11月の29日に第6回の部会を行っております。この時点では、市内の中学校で行われてる部活動の現状の確認を主に行ってきております。

そして、その次、12月19日が第7回の部会になります。ここで各市内の中学校の部活動の種類、また、活動時間等の現状を示して、アンケートを行うという方法で話をまとめさせて頂きました。そして、アンケートは1月下旬に学校にて実施すると。小学校の4、5、6年、そして全中学生、このような形で中身を協議してまいりました。

その後、2月15日、第8回になります。アンケートの集計が出ました。ここに記入してあります、小学校では「部活動に入りたい」が86%、中学生では「今の部活動に満足している」が74%、このような高い値という結果が出てまいりました。

それを基に、最終的に3月の7日、第9回の部会になります。ここで、部会で部活動内容を決めるということではなくて、子どもたちの意見を基にして、こんな部活動をこのような考え方の下で、中学校で考えていってほしいということをもとめさせて頂きました。

それでは、その2からになりますけれども、部活動に関するまとめをかいつまんでご説明させていただきます。

先ほどの説明のとおり、このような形でまとめさせて頂いております。まず、①にありますように、現在は文化系の部活がないため、文化系の部活動を複数設置できるようにしてほしいという意見。③では、地域の特性や子どもたちのアンケートの結果を踏まえて、例えば、小学校、中学校とも、バトミントン、バスケット、家庭科など、特に人気が高かった意見が出ております。また、

それぞれの地域では、伝統芸能に関わる活動も盛んに行われております。このような部活動もあってもよいというまとめをさせていただいております。

じゃあ、次のページのほうに移りますけれども、活動日についてになります。

①にありますように、年間を通じて週1、2回程度は活動日を確保してほしい。②では、その活動時間は一単位時間、授業でいいますと1時間程度は確保できないでしょうかというものになっております。

その他といたしまして、①にあります、それぞれ5つの中学校でこれまで取り組んできた部活動は、やはり継続してほしいといたしました。これらのこのまとめを基に、統合中学校の開校に向けて学校側で考えていただきたいという形で、環境部会のほうではまとめさせていただいております。

その下にあります3、部活動に関するアンケートの結果を、資料として添付させていただいております。

その次のページになりますが、部活動の表を載せてあります。市内の中学校の現在の部活動を丸印で表示してあります。例えば、恵那西、恵那東ですと、全部で12の種目が部活動として活動している。そこで、統合に係る中学校では、岩村では5種類、山岡では4種類、明智が5種類、串原は1種類、上矢作は2種目、このような現状が調査から分かってきました。それが統合すれば300人以上の生徒になるということから、おそらく恵那西、恵那東ぐらいの種目数の部活動が可能になるのではという情報提供もしながら、部会のほうでこのまとめをつくってきておるとい状況です。

そして、この表の一番右端にあるのが、小学校のアンケート、中学校のアンケートの結果になります。バスケットが小学生で83、バトミントンで84、そして美術、家庭科、このあたりが多くやってみたいという部活動という意見が上がってきております。

また、そのほか、下段の枠にありますように、いろいろな考えがあることがアンケートでも分かってきておるところです。このような資料を基にしまして協議を行いまして、部会としてまとめさせていただきましたので、これを基にして統合中学校でも考えていただきたいということをまとめさせていただいたものになりますので、皆様ご確認いただきまして、ご審議いただければと思います。

説明は以上でございます。

副委員長 ありがとうございます。ただいま2つの事項について……。 (発言する者あり) 19も。すいません。

事務局 失礼します。学校統合準備室の青木といいます。よろしくお願いをします。議題19、交流事業に関することについて説明をさせていただきます。

10月11日、第4回の学校事務部会のほうで、事務局からの説明をさせてい

いただきました。それから、その中で交流活動について皆さんのご意見を伺って、案を出していただきました。その案が2のところになります。様々な案が出てまいりました。その中で、こういつて出てきたことについて、11月の14日、校長会のほうにこの結果についてお伝えをしました。それで、校長会のほうで、こういった意見を基に、意見を絞りながら、こういった方法ならできるのではないか、これは少し難しいのではないかというようなご意見をまとめていただきました。そういった意見のまとめを、ここにちょっとついておりませんが、2月のところでまたお示しをしながら、12月、2月とお示しをしながら、今、学校のほうで原案について進めさせていただいているところです。中学校についてはスポーツ交流と合唱、それから、小学校についてはレクリエーション、そういったものを今年度中にまず行ってみるということで、今、動きを進めているところです。どちらにしても学校間で調整、それから、日程の調整、それから、場所の調整等がどうしても必要になってくる事項ですので、今、学校のほうで先生方をお願いをしながら、それが実現できるようなところで、今、進んでいるようなところでございます。

以上です。

副委員長 はい、ありがとうございます。今、部活動に関することと交流事業に関することということで説明がありましたが、この部分に関してご質問等はございますか。

委員 すいません。今、アンケートをしていただいたということで、小学校の方で「入りたくない」14%ってあるんですけど、入りたくないって答えた方の部活ってというのは、要は、帰宅するっていうような形なのか、何かしらの活動に入ってもらおうという形なのか、その辺は検討されているのでしょうか。

事務局 事務局のほうから説明いたします。

これ、その細かな分析までは、アンケートでそこまでのお答えを頂いてるものじゃなくて、純粹に部活動に、やってみたいわという思いではない方々のご意見というふうにしか、ちょっとここのアンケートでは分析ができておりませんので、すいません、そこまでのご説明とさせていただきます。

副委員長 ほかがございませんか。

委員 すいません。部活動のアンケート結果についてなんですけれども、「満足している」「満足していない」、肯定的な意見が127、否定的な意見113で、「満足している」234に対して、この辺の数値が合っていないんですけれども、この辺はどういうふうに読み取ったらいいのでしょうか。満足しているけど否定的な意見があるという認識でよろしいのでしょうか。

それと、もう一点。理事会において、部活動に関しましては、地域移行に関する内容についてご発言させていただいてるんですけれども、この辺の課題とい

うところはここに盛り込まれてないんですけども、どのようにお考えでしょうか。お願いいたします。

事務局 部活動の、特に中学生の今の、満足、満足してないということのお話です。このコメントのほうは、コメントの数という形でカウントさせていただいておりますので、満足している人が全て肯定的という、そういう区分けがされてるものではなくて、記述の中の意見の中で否定的なコメント、そして、肯定的なコメントという形ですので、満足しているけれども、こういうことがもうちょっと少ないよね、例えば、部活動の時間は少ないんだよね、もっとやりたかったよね、そういう意見もあるというふうにご認識いただければと思っております。あと、今、部活動の地域移行の問題もございます。地域移行の問題があるというところの中でのご意見、そして、部会の中でも協議がありました。ただ、今、地域移行の問題はまだまだ結論が出ている状況ではないという中で、この部会の中で、そこについて合わせて一緒に検討するのはなかなか難しいということがございます。あくまでも部会としては、子どもたちがどういうことを希望しているのかというところを主に考えていきたいということで、今回はまとめとさせていただきますので、地域移行のことは課題があるよねというところで、そこはまだまだこれから検討が必要ですよというところまでしかなかなか踏み込めていないという状況であるというふうに、今お答えさせていただきます。よろしく申し上げます。

副委員長 よろしいですか。ほかご質問はございませんか。

ないようですので、お諮りをします。課題13、部活動に関すること、課題19、交流事業に関することについて、賛成される方は挙手をお願いいたします。

委員 すいません。何についての賛成？目的が全く。何について承認する。これですか。そういうことですか。

副委員長 そう。そういうことです。

委員 この内容で進めていきますよということについて……。

副委員長 そういうことですね。

委員 賛成ということで。

副委員長 すいません。

委員 部活動についてなんですが、運動部だけですので、もうちょっと美術部とか家庭科とか、室内系の部活をもうちょっと、二、三個あればなどは思ってます。やりたい人の中に結構、14%いますけど、やっぱり運動がやりたくない、家でじっとしてたいということは、それをやりたくないという人をやりたいというふうにするのは、室内系の部活もあればなどは思ってますけど、どうでしょう。

事務局 事務局からご説明させていただきます。

まず、本日の総会資料の10ページに、部活動に関するまとめのところにも記載はさせていただいております。おっしゃられたように、現在、南地区では文化系の部活動がないという現状の中で、やっぱり意見もございます。この①に書かせていただいております、文化系の部活動を複数設置できるようにしてほしい、これをまとめさせていただいておりますので、運動系だけでなく、文化系のほうも幅広く取り上げていただければというふうに考えております。

(発言する者あり)

副委員長 よろしいですか。

それでは、もう一度お伺いをいたします。今の部活動に関することと、地域の交流事業に関することについて、賛成される方は挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

副委員長 はい、ありがとうございます。課題13、課題19については、賛成多数により承認されました。

6 その他

副委員長 続いて、次第6のその他に入ります。

準備委員会の会議に係る託児導入、Zoomでの会議参加について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 事務局の古川のほうから説明させていただきます。

まず、託児についてになります。準備委員会に係る会議について、小さい子どもさんがいる委員さんも見えるため、託児の必要があるのではないかとの意見を頂いております。これにつきましては、会議に参加しやすい環境を整えることも必要であり、委託業者との調整が整い次第、託児ができるように調整していきたいと思っております。託児を必要とされる方、会議の案内が届きましたら、その案内にある期限までに、学校統合準備室までご連絡を頂くような形になります。一応今のところ、対象となるお子さんは、生後8か月から小学校6年生まで。託児の申込者に対しましては、教育委員会からの受託者から、子どもさんの状態などの聞き取りなどがなされることになる予定ですので、あらかじめご了承頂きたいと思っております。

続いて、Zoomについてです。会議について、オンラインでの参加はできないかという要望を受けております。今後、Zoomを利用した参加もできるように、試験的にできるように一度考えてみたいと思っております。一度始めてみて、問題等があれば協議いただければいいかと考えております。Zoomでの参加を希望される方につきましても、案内が届きましたら、こちらの学校統合準備室までご連絡を頂きまして、アカウント等をこちらからお知らせするような形で、当日入っていただくような形を考えておりますので、ぜひご利用頂ければ

と思います。

以上になります。

副委員長 はい、ありがとうございました。ただいまの事務局からの説明について、ご質問等はございますか。

委員 この間、5町合同で保護者の説明会をやっていただきありがとうございました。あのときなんですけど、私たちはずっと市長とお話したいというのをずっと言ってきたんですけど、一度も市長が来るよという告知はなかったんですけど、それはなぜですかね。ここにいらっしゃる皆様、保護者も、みんな本当は市長の言葉聞きたかったと思うんですけど、広く告知もなく、前からちゃんと市長来ますってことも回答もなく、平日の水曜日7時から10時半まで、子どもを連れて会議をさせていただきました。最後の最後、市長と会話もしたかったんですけど、子どもも一緒だったので、全く質問もできませんでした。これ、もう一回、保護者含め市長が説明する責任があると思うんですけど、どう思われますか。

副委員長 すいません、ちょっと質問がずれてますが、何か責任者の方、思われることがあったら、お答えをお願いします。

事務局 事務局の鈴木から説明させていただきます。

まず、市長が出席につきましては、市長は公務多岐にわたりますので、ぎりぎりまで調整をした上で、都合がついたから来ていただいたというような状況でございます。来ると言っておいて来れないというようなことにもなりかねませんでしたので、最後の最後まで調整を図ったと。言ってみれば、当日の朝まで一応そうしていただいたということになります。

それから、次回につきましては、この前、意見交換をさせていただきましたけれども、あれを踏まえて、次のタイミングを見て、また検討したいと考えております。

以上です。

副委員長 はい、ありがとうございました。それでは、託児とZoomに関するご質問はございませんか。はい。

委員 すいません、ちょっと自分も発言がずれるかもしれないんですけど、このZoomの配信を今していただいていると思うんですけど、部会とか。アーカイブ残すことは可能なんですか。その辺の返答は、今まで残さないということだったんですけど、これは後から見返すというようなことが、見れない方が見れるとか、そういった配慮とかはもうされないということでしょうか。

事務局 すいません、学校統合準備室の瀨瀨からお答えをさせていただきます。動画のアーカイブにつきましては、昨年同様の取扱いで、アーカイブとして残

すということはしていかないというようなことでお願いできますでしょうか。
以上でございます。

副委員長 はい。

委 員 どうしてもその時間に聞けない、見れないという方もいらっしゃるんですね。
せめて1週間ぐらいアーカイブ残してもらうことできませんかね。

事務局 すいません、アーカイブの代わりに議事録、これ詳細な議事録になっておりますので、そちらのほうで確認をしていただきたいと思います。
以上でございます。

委 員 なぜそんなにアーカイブを残せないのか、理由を教えてください。

事務局 基本的にこのアーカイブというのは、例えば、この場でアーカイブを残すと、皆さんの顔だとか発言内容、そういったものが全て残ってしまうこととなります。それで、議事録としては、ウェブサイト見ていただくと、全部詳細に誰が誰かというのは分からないわけです。委員さんがこういう発言をしたりという形で、読み返していただければ、その内容が分かるようになっておりますので、もともとこの議事録作成というのは、その会議の内容が分かればよいというような形で我々は理解しておりますので、大変恐れ入りますが、アーカイブにつきましては、議事録からということにさせていただきたいと思っておりますので、ご了承ください。

委 員 すいません、今、ユーチューブの配信されてるので、誰の顔がとか見えないと思うんですよ。アーカイブは聞けると思うんです。別に1週間ぐらいアーカイブ残してくださってもいいんじゃないかなというのはすごく思うのと、議事録も、私、一回議事録の改ざんされてるので、議事録が本当に合ってるかどうかを確認できないんですね。なので、アーカイブの配信をお願いしますと私は伝えてます。

事務局 議事録につきましては、基本的には改ざんというものをしませんので、そこを
ご了承願えないでしょうか。

副委員長 ほかよろしいですか。それでは質問がないようですので……。はい。

委 員 すいません。議事録の詳細についても、こちらからかなりお願いして、やっと
詳細で出していた。最初は本当に趣旨だけで出すとか、そういった状況で、こちらからかなり本当にお願ひして、やっと今の詳細の議事録になってるような状況なんですよ。もう本当にこんなような状況で、こっちからお願いしないと、ちゃんとやってくれないというような状況がかなり、去年1年間続いたような気がするので、本当に議事録についてはしっかり残していただきたいなというふうに切に願ってますし、さらに、議事録については本当ちゃんと、うまく言葉出るので申し訳ない、していただきたいなというふうに思います。
以上です。

副委員長 いろいろご指摘がありました。教育委員会しっかりやりますので、よろしく
お願いいたします。ほか質問はよろしいですか。質問がないようですので、準
備委員会の会議に係る託児導入、Z o o mの会議参加については、会議に参加
しやすい環境の整備でもありますので、事務局のほうで進めていただきたいと
思います。皆様、よろしいでしょうか。（「はい」「異議なし」と呼ぶ者あり）
はい、ありがとうございました。

それでは、予定された議事は全て終了しましたので、進行を司会に戻したいと
思います。スムーズな議事運営にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

事務局 杉山副委員長、ありがとうございました。

総会の冒頭にご紹介いたしましたが、本日、アドバイザーとして岐阜聖徳学園
大学教授の福地先生にリモートで参加していただいておりますので、福地先生
よりご意見等を頂きたいと思っております。福地先生、よろしく願いいたします。

アドバイザー こんばんは。聞こえますでしょうか。大丈夫ですか。聞こえますか。

（「はい、聞こえます」と呼ぶ者あり）ありがとうございました。すいません、
冒頭、Z o o mのアップデートで時間がかかっちゃって、時間までに入れなく
て、途中で、ご挨拶の途中に入ってきました。申し訳ございませんでした。

第2回の恵那南地区の統合中学校準備委員会の総会ということで、皆さん、お
疲れさまでございます。夜お集まりいただきご苦労様です。総会ですので、
これ2回目なんですよ。多分私も参加するのは2回目ですかね。1回目が昨
年度のこの時期で、2回目がこの時期ということと理解してよろしいですかね。
ずっとそちらに出向くことができずに、オンラインで大変……。理事会ですか
ね。理事会のほうに出させていただきます、その都度その都度思うことを少しづ
つお話をしてきたところです。私は教育学部の教職教育センターというか、大
学の教職教育センターで教員養成に当たっている、そういう今、ポジションで、
将来教員になっていこうとする若者を教育している、そういう人間なんです。
バックグラウンドは、岐阜県で38年間教職員やってきたので、最後校長で終
わらしていただいて、その経験が何かこの準備委員会の中で生きようであれ
ばということで、アドバイザーという大変申し訳ない立場を頂いておりますの
で、お役に立てないかもしれませんが、その都度その都度こうやってお話を
をさせていただきます。

今日、前回出たのが、私、多分10月かな。いつだったですかね。12月です
ね、多分ね。準備委員会の理事会に出て、そこで結構いろいろとお話をしたつ
もりです。今日、総会なので、そこはちょっとこう、何ていいますか、目的
とか趣旨とかが恐らく違うんだろうと思いながら拝聴をしていました。思った
ことだけ申し上げると、今日は非常に大きな会なので、一つは、ここまで、市

長さんが出られたその住民説明会というか、地域意見交換会のことも今、話題に出ましたけれども、少しでも問題意識というか、課題とかですね、疑問点とか、ご意見が様々あるというふうに、私も会に出るたびにお見受けしてしながら拝聴しています。進んでいくという前提で、今、話が進んでいますので、どこをどんなふうに修正していくといいかということ、建設的な意見の中で少しでも民意が前向きに全員の気持ちになって、まあ意見いろいろあることはもう当然なことなので、そこを何ていいますかね、どう言ったらいいんですかね、取り入れられるところは取り入れながら、あるいは、妥協しなきゃいけないところは妥協しながら、あるいは、計画についても、そのご意見を踏まえた上で、新たにこういう部分を付け加えたというところを積み重ねていながら、いい学校になっていくプロセスが実感できるようになってくるといいなということをおもいました。今日も改めておもいました。

準備委員会の設置要綱の中には、新中学校ですよ。「新しい学校づくり」という非常に夢のある言葉が第1条の中にあるわけなんで、この新しい学校づくりに対する期待感といいますかね。そういうものが少しでも子どもの中にも、地域住民の中にも、当然保護者の方の中にも、大きく膨らんでくるような取組になるといいなということをおもいながら聞いていました。これは1点目です。

あと、私、元教員なので、教育行政とか、いわゆる地域社会学というか、そういうものが専門ということではなくて、学校教育論とか、そういうところが専門なんですよ。そうすると、新しい学校といったときのその学校の魅力というのは、やっぱり学校の中身というか、教育課程というか、目指す子どもを前提に置きながら、どういった新しい学校の教育がその中に展開していくのかというところが一番大事なんじゃないかなっておもいながら、いつも聞いています。この新しい学校に行くと、いわゆる今後、5年後、10年後、子どもたちが非常に変化の激しい社会の中に生きていく上で、非常にこれまでの学校とは違う新たな側面の体験ができたりとか、あるいは力が身についたりとか、そういう何かベクトルがさらに明確というか、伝わってくるようになるというところをおもいながら聞いています。今日の議事が部活動とか交流事業だったので、部活動は恐らく子どもさん方とか親御さん興味あるとは思いますが、その教育課程外の活動なんですよ。交流事業もこれは学校統合のためのプロセスでやらなきゃいけないことなので、どういう方向に向かっているのかというのを、多分恐らく毎回確認しておらっしゃるんだろうと思うんですけど、いわゆるできたときの学校像とか、理念とかですね。そのためにどういう教育課程が組まれていくから、こんな教育受けることができるよという期待感とか、そのためのいわゆるロードマップですよ。このジュウ、幾つだったかな。課題が、23個課題が、課題整理シートって挙げてありますけど、番号が1から2

3までありますけども、これ何の番号なんかというところ、これ多分1回ごとに割り振って、その質的なものなんでしょうかね。その名称も大事だけれども、やっぱり何か教育課程というか、教育内容とか、どういう教育をこの学校行ったら受けることができるんだというところが、何か一番盛り上がってくるという部分になかなか至らずに、至らずにというか、話が、言及がなかなか行かずに、部活動のこととか様々なことに話合いが行っているところが何か……。まあ全部出てないので分かんない、そういう印象を受けたというのが2つ目です。これ、まだこれから続いていくと思うんですけども、細部を詰めるためには、一番の根幹になる理念とか、いわゆるその学校像とか、それから、目指す子どもの姿とか、そういうもので地域住民の方とか全員が、まずはそこが合意されていけば、あとはいろんなやり方があるので、そこは議論の余地はあると思うんですけども、まずその固い合意があって、理想をしっかりと描かれているかというところを、描かれていると思うんですけども、何か常にそこに立ち返るというような議論の展開の仕方がいいんじゃないかなということを思いました。それから、前回の準備委員会のときに、やっぱり自分の勉強不足だとつくづく思うんですけども、そういった理念とか理想に行き着くまでのロードマップというか、そういうものがなかなか自分の中にしっかりと見えてこないところが、何か自分なりに勉強してないなというか、申し訳ないなと思いつつ感じていますので、そこら辺も年に1回の総会ですかね、総会なので、なるべく原点は原点、そこから今回はここというふうに、常に何か立ち返る部分を明確にした上で、細部に入っていくというような、そういう展開にさせていただいたほうが、人も変わりますし、年が変わっていくと、何かそこに出た人はそこしか見れなくなっちゃうので、常に何かこの一番コアな部分というか、どんな学校を、どんな子どもを、そのためにどんな教育をとる部分は、カチッと確実に確認した上で、細部についての各議論に入っていればいいかなということを思って聞かせていただきました。あまり私も急にというか、ずっと継続的に関わらしていただいている身の上でないので、今、申し上げたことが外れている可能性が非常に高く、恐縮しながらお話をしている次第でございます。すいません、貴重な時間に的外れなことをお話ししました。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

事務局 福地先生、大変貴重なコメントをありがとうございました。
そういたしましたら、最後のほう、事務連絡のほうなんですけれども、事務局のほうからさしていただきますので、よろしく願いいたします。

事務局 事務連絡のほうを1件だけです。
昨年度、総会につきましては、立ち上げの1回だけでした。今年度につきましては、理事会への決定事項というのが増えてくることが予想されます。昨年度

より総会の頻度が増えてくることが予想されてきましたので、委員の皆様につきましては、お忙しいところ申し訳ありませんが、ご協力のほどよろしく願いいたします。

以上になります。

事務局 それでは、事務連絡のほうは以上でございます。

総会の議事につきましては、これで全て終わりました。大変ありがとうございました。

この後なんですけれども、引き続き3つの専門部会を開催しますので、部会に入っています委員の皆様については、ご出席をお願いします。

まず、総合部会につきましては、こちらの大ホールで行いますので、少し机等を変えますけれども、こちらで行います。それから、環境整備PTAコミスク部会は、コミセンの2階になりますので、振興事務所のほうの玄関、あちらから入っていただくことになります。それから、教育活動学校事務部会は、コミセンの1階の和室になりますので、こちらも同様に振興事務所玄関から入っていただいて、1階の和室のほうに移動を願いたいと思います。

ほかの委員、ない方につきましては、これで終了となります。本日は本当にありがとうございました。

以上で、総会を終了したいと思います。